

平成16年6月 定例会知事答弁要旨 環境農政部

7月13日

代表 一般質問

田 島 信 二 議 員 会派（自民党）

質問番号 5 - (1)

質問要旨

5 環境・廃棄物対策について

(1) 様々な環境問題の中、とりわけ廃棄物問題は深刻な社会問題である。そうした中、このたび多くの有力企業の出資を得て、エコループプロジェクトについて株式会社エコループセンターが事業主体として設立された。立地についても山北町が候補地として検討を進めていくとの意向が表明された。

そこで、エコループプロジェクトの事業主体が設立され、立地候補地も具体化してきた動きについて、知事はどのように受け止め、また、県としてどう対応していくつもりなのか、併せて所見を伺いたい。

答弁要旨

- 次に、廃棄物問題に関連して、数点ご質問いただきました。
まず、総合的な廃棄物処理システムとしての、NPO法人環境テクノロジーセンターから提案されたエコループプロジェクトについて、事業主体の設立などの動きを踏まえた県の受け止めと対応についてであります。
- エコループプロジェクトについては、去る7月5日に、環境テクノロジーセンターの岡崎理事長さんと、山北町の佐藤町長さんが県庁にお見えになり、事業主体となる株式会社エコループセンターが7月6日に設立されること、また山北町川西地区を立地候補地として検討を進める意向であることのご報告をいただきました。

(次葉に続く) No.1

答弁要旨（続き）

- 事業主体となる新会社は、国内有力企業を含めた多くの企業の出資により設立されたと伺っておりますので、このプロジェクトが具体の民間事業として評価され、スタートラインに立ったものと受け止めております。
- 併せて、山北町から立地候補地として検討を進める意向が表明されましたことは、プロジェクトの具体化への大きな前進であると考えております。
- 今後、新会社では、市町村の意向を踏まえた廃棄物量の精査や採算性の検討など、事業化に向けた調査業務を集中して行い、今年度末までを目途として、事業計画を確定していくと伺っております。
- したがって、具体の事業計画は今後詰められる訳ですが、このプロジェクトは、幅広く環境に配慮した廃棄物の総合処理システムの構築を目指すもので、「廃棄物県内処理100%」の実現など、循環型社会づくりに向けた有力な動きであります。
また、山北町に立地するとなれば、県西地域の活性化にとっても大きな弾みになることが期待されますので、県といたしましては、こうした点を踏まえつつ、広域行政の立場から積極的に対応してまいりたいと考えております。